

# 堂谷津の里 自然だより 2019年 9月

2019. 9. 1

長い梅雨のあとの猛暑、台風の影響による不安定な天気が続いた8月から9月へ。こうべを垂れる稲穂、夏の終わりを告げるヒグラシやツクツクボウシの声、道端や林床に咲く野の花に秋の気配を感じる頃となりました。自然と向き合える里山は、いつも季節を先取りしている感じです。



ショウリョウバッタ



オンバッタ



エンマコオロギ

### 草原の虫たち



コバネイナゴ



ツチイナゴ幼虫



オオカマキリ



シオカラトンボ



ナツアカネ



オニヤンマ



センニンソウ



ゲンノショウコ



キツネノマゴ



ヤマホトトギス



ノダケ



堂谷津の里  
秋の草花



ツリガネニンジン



ヤブミョウガ



ヤマハギ



クズ

### <季節メモ> 秋の七草

「秋の野に咲いている草花を指折り数えると7種類ある」  
「それはハギ、ススキ、クズ、ナデシコ、オミナエシ、フジバカマ、アサガオの花」山上憶良の和歌にある秋の七草です。現在、「アサガオ」は「キキョウ」との定説があります。

秋の七草は、観賞用としてまた薬用として有用とのこと。

学校の帰り道摘んで帰ったこれらの花は、かつては身近な存在でした。絶えてしまった今、その頃の里山の風景を願いつつ活動しています。

写真・編集：晝間